

PRESS RELEASE

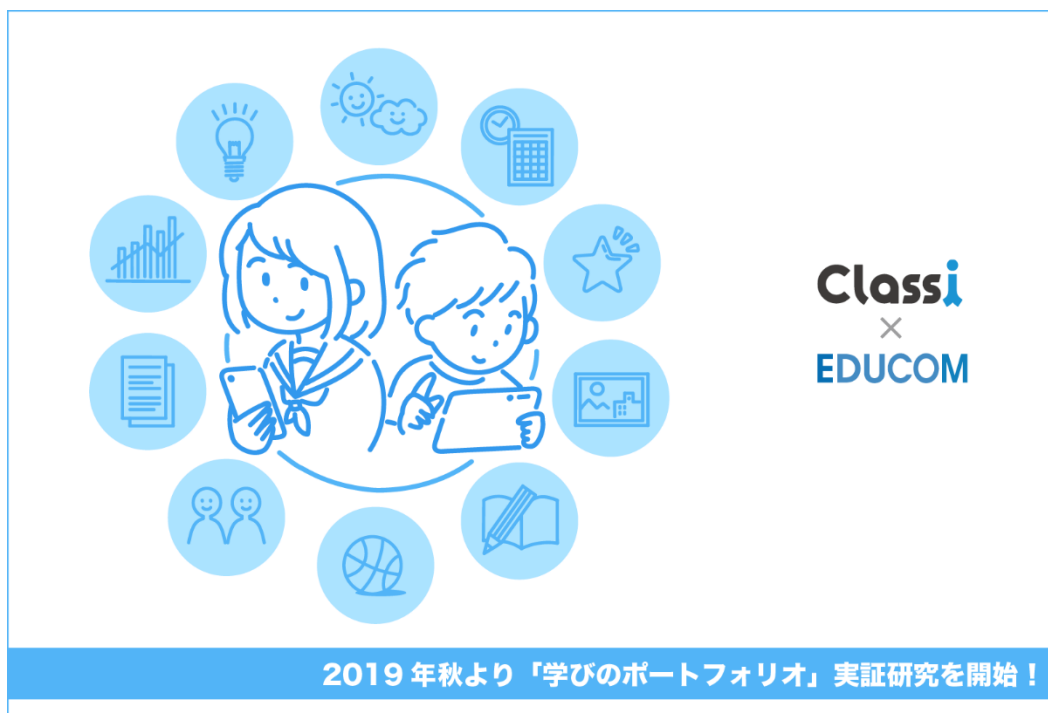
Classi と EDUCOM、 小中学校での「学びのポートフォリオ」実証研究を開始、対象校を公募

Classi 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：山崎 昌樹、以下 Classi）とグループ会社の株式会社 EDUCOM（本社：愛知県春日井市、代表取締役 CEO：柳瀬 貴夫、以下 EDUCOM）は、本年9月より、小中学校を対象とした「学びのポートフォリオ」に関する実証研究を開始いたします。

すでに、全国の高校において、生徒が日々の学校生活の中で得た学びや気づきを記録、蓄積、活用していくポートフォリオの利用が開始しております。

今回の実証研究は、小中学校においてポートフォリオを試験的に導入・活用することで、どのような教育的効果があるのかを検証するものです。

実施においては、実証研究にご協力いただける小中学校を全国より公募し、学校生活における多様なシーンでのポートフォリオの活用について研究してまいります。ご協力いただける学校には、Classi あるいは EDUCOM が開発したポートフォリオシステムを実証期間内、無償にてご提供いたします（*1）。



■実証研究の背景と狙い

Classi は、2018年4月より「Classi ポートフォリオ」を全国の高校（中高一貫校を含む）を中心に提供し、国内最大級の1,000校超の高校、58万人超の高校生（*2）に利用されています。大きな特徴として、今後の大学入試で必要となる学習記録データの蓄積だけにとどまらず、“主体的に学ぶ力”を育成することに主眼をおいております。2016年からは、eポートフォリオの第一人者である、東京学芸大学森本康彦教授、株式会社ベネッセコーポレーションと共同で、全国の中学・高校の生徒約1,500人、教員約350人を対象に、約2年間にわたり「ポートフォリオ」に関する実証研究をおこなってまいりました。

EDUCOM は、小中領域における統合型校務支援システム（*3）のパイオニアとして、校務支援システムにとどまらず、小中学校における“子どもたち一人1台”のタブレット環境の実現を見据え、新しい時代を生きるのに必要とされる資質・能力を育むことを目的とした「スクールライフノート」を新たに開発しております。また、それらを学級経営や学習支援に活用するべく、文部科学省「次世代学校支援モデル構築事業」をはじめとする、自治体との実証事業にも積極的に取り組んでおります。

文部科学省「Society 5.0 に向けた人材育成」においても、EdTech を活用し、個人の学習状況などのスタディ・ログを「学びのポートフォリオ」として電子化・蓄積、活用することがうたわれており（*4）、高校だけでなく小中学校においても、その教育的効果への期待が高まりつつあります。

このような中で、Classi と EDUCOM の豊富な知見と経験をいかし、小中学校におけるポートフォリオ活動の実現性や教育的効果についてはかるべく、実証研究をおこなうこととなりました。今回の研究結果は、ICT を活用した教育に関する有益かつ実践的な情報として、全国の教育関係者の方々に提供する予定です。

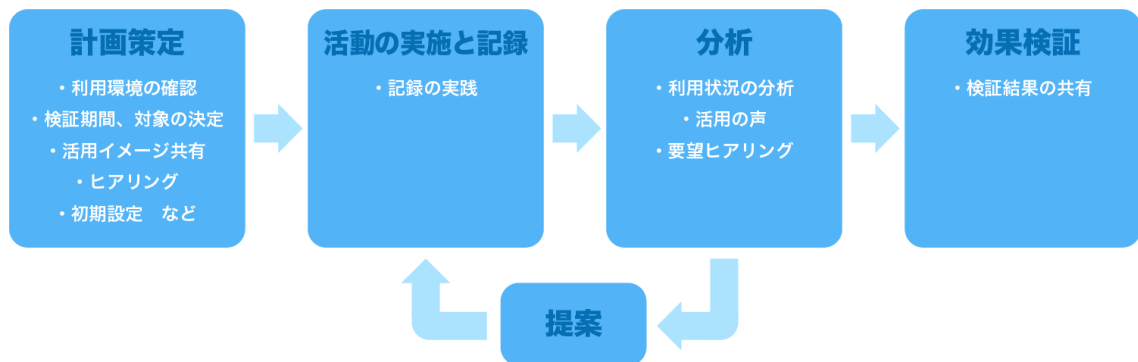
■実施概要

- ・実証開始日（予定）：2019年9月から順次開始
※期間ならびに実施方法などは、ご応募いただいた各校と協議のうえ決定させていただきます。
- ・対象：日本国内の国立・公立・私立の小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校（小学部、中学部）の教員・児童生徒ほか
- ・募集期間：2019年7月11日（木）～2019年8月9日（金）23時59分

- ・申し込み方法：以下のフォームより、お気軽にお問い合わせください。
Classi・EDUCOM ポートフォリオ実証研究事務局
<https://classi.jp/inquiry/>
- ・その他：
 - ・応募多数の場合は、厳正なる審査のうえ、研究対象校を決定いたします。なお審査にあたっては、事前のヒアリングをお願いする場合があります。
 - ・本研究は、原則学校単位での応募となります。学校長（ならびに教育委員会）へ確認したうえでご応募ください。実証対象学年やクラス数など、詳細につきましては、研究対象校と相談のうえ決定し、進めてまいります。
 - ・教育委員会からのお申し込みの際には、実証可能な学校数に限りがある場合がございます。事前に事務局までご相談をお願いいたします。

■実証研究の流れ

本研究は、①ポートフォリオ活動の計画策定、②活動の実施および記録、③分析、④効果検証の4つのステップで実施いたします。また、現時点では、以下の2つのパターンにて、ポートフォリオ活動をおこなっていくことを想定しております。



【パターン①】

小学校高学年が対象。スマートフォン／タブレットを活用し、学校内・自宅などを問わず、日々の学びや気づきを記録していきます。同時に、同じ学校内の仲間からフィードバックをもらいながら、学びを深化させていく「相互評価」についても、実証研究してまいります。

【パターン②】

小中学校の全学年が対象。学校中でどのような気づきや学びがあるのかを、生徒1人、もしくは、グループやクラス単位で記録していきます。基本的に、学校内での活動のみの記録を想定しております。

パターン①・②ともに、実証研究で利用する端末（スマートフォン／タブレット／PC）などは、学校（教育委員会）保有の端末や、BYOD（Bring Your Own Device=生徒・保護者が保有する端末の利用）を想定しております。

(*1)「ポートフォリオシステム」のご提供にあたっては、Classi 株式会社および株式会社 EDUCOM の利用規約に同意いただく必要がございます。また利用期間は、実証研究の期間中となります。

(*2) 2019年6月末現在「Classi ポートフォリオ」の利用校数および利用生徒数。Classi 株式会社調べ。「Classi」自体の利用校数は、全国の高校の2校に1校（2,500校超）、高校生の3人に1人となる116万人となります（2019年5月末現在）。

(*3) 統合型校務支援システムとは、教務系（成績処理、出欠確認、時数など）・保健系（健康診断票、保健室管理など）、指導要録などの学籍関係、学校事務系などの統合した機能を有するシステムのこと。

(*4) 2018年6月5日文部科学省発表(http://www.mext.go.jp/a_menu/society/index.htm)

■ご参考情報

▼Classi 株式会社について <https://classi.jp/>

所在地：東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビルディング 14 階

設立：2014年4月

代表者：代表取締役社長 山崎 昌樹

代表取締役副社長 加藤 理啓

事業内容：教育プラットフォームの開発・運営

▼株式会社 EDUCOM (エデュコム) について <https://www.educom.co.jp/>

本社所在地：愛知県春日井市如意申町 7-7-5 [愛知本社]

東京都新宿区高田馬場 1-29-1 [東京本社]

設立：1990年7月

代表者：代表取締役 CEO (最高経営責任者) 柳瀬 貴夫

事業内容：小中学校向け「校務支援システム」の開発・販売・サポート

以上